

発達障がいを知る～理解と受容、どうすればよい?～

12月11日（土）実施

参加者 36名(会場:22名 オンライン:14名)

当講座は、ふっさボランティア・市民活動センター運営委員会の会議から開催することとなりました。運営委員の講座内容への熱い思いに講師の佐々先生が応えてください、参加者からも大変参考になったとのお声をいただきました。今後も皆様からの声とニーズに合わせた事業を開催したいと思います。

- ・仕事上でも使える（例えられる）情報が多く参考になった。
- ・自身の子育てにおいてもそれぞれの内容と繋がっていて、心強く感じられました。
- ・「子育てには人の力を借りなさい」という言葉が本当にその通りだと感じた。
- ・歴史、事例、制度等、様々に取り入れたお話は大変興味深く聞かせていただいた。



大人も子どもも遊んで木育

12月12日（日）実施

参加者 54名



FDCAT（福生災害ボランティアチェンソーチーム）の皆さんによる薪になる木の配布と同日開催で、遊びながら木への親しみや理解を深める木育講座を開催しました。

当日は、福生プレイパークを創る会のスタッフの方もお手伝いに参加し、クリスマスリース、竹とんぼ、松ぼっくり飾り、どんぐりクラフト、ロープワーク、薪割体験など豊富なメニューで、子どもから大人まで楽しいひと時となりました。ボランティアスタッフの優しい指導と「木」のぬくもりとで、心温まる時間となったのではないでしょうか。



※次回は3月に開催予定です。3月13日（日）10時00分～正午（薪も配布予定）

ボランティア養成講座 お正月飾りにトライ！

12月8日・15日（水）実施

参加者 各10名



講師の近藤富代子氏は自然の材料を利用した作品づくりを指導され、高齢者施設や子育て関係など幅広くボランティア活動をされています。

日本の伝統的なイグサやワラを使用して、新年に向けて縁起のいい俵飾りと亀を作りました。作業工程が難しい場面もありましたが、一つ一つ心のこもった作品が出来ました。一部をボランティアの皆さんからご寄付いただいた切り絵細工の虎や絵手紙とともにメッセージを添えて、福生市内の高齢者施設、障がい児・者施設へ良い年となりますように！の願いを込めてお届けしました。ボランティア活動へのきっかけになり、継続していただければと思います。



新規登録団体紹介

NPO法人 青少年自立援助センター

代表：理事長 河野 久忠

民間学習塾として、福生市に拠点を開設して44年。NPO法人設立から22年が経過しました。全国の引きこもり、ニート状態の若者が自立を目指す宿泊トレーニングプログラムを実施しています。内閣府、厚生労働省、東京都、福生市や各自治体からの同種事業も受託しています。また、障がい者作業所、グループホーム、海外ルーツの子どもの学習支援も運営し、社会的弱者の若者などが自分らしく生きることのできる支援に力を入れています。今後フードバンクふっさへ支援・連携を予定しています。



小地域福祉活動報告

福生社協では、小地域福祉活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを作成し、スタッフ・参加者が安全に利用することができるよう御協力をお願いしています。

11月20日(土) 原ヶ谷戸福祉地区(しんわ会)

25名程参加され、ご夫婦や男性も多く参加されていました。皆さんの出身地について伺うと、福生出身の方が一人もいないことがわかり、中には池袋出身の方で、昔池袋駅の周りで凧揚げをしたというエピソードなど、新たな発見もありました。



12月8日(水) 鍋二福祉地区(むぎの会)

気功体操と虎の折り紙、健康相談を実施しました。25名程が参加され、健康相談は20名の方が受けられました。

折り紙は細かい工程でしたが、スタッフが丁寧に教えながら作り上げていました。元気な笑顔の絶えない会となりました。



11月26日(金) 本八第一福祉地区(あじさいの会)

30名程が参加され、軽体操と虎の切り絵を行いました。切り絵では、虎のパーツを爪楊枝とボンドで台紙に貼り付け、それぞれ表情の違う可愛らしい虎ができあがりました。



一人暮らしの方が多い中、人の温もりを感じられる時間になつたのではないでしょうか。

12月11日(土) 牛二福祉地区(はまゆうの会)

2年振りの開催となりました！

久しぶりの再会を喜び合い、会話が弾んでとても楽しそうでした。

25名程が参加され、紙コップでかごを、折り紙で箱作りをした後、お弁当が配されました。箱作りが一人では難しい方は、スタッフがお手伝いし、和やかな時間になりました。



1月21日(金) 南田園二丁目福祉地区(ゆうゆう連) FCGONAのコーチによる「ボッチャ」講習会

GONA特製の赤い的にどれだけボールを近づける事ができるか、皆さん楽しみながらも真剣に取り組まれ、後半の試合では審判も自分たちで行いました。積極的にコーチに確認しながら、ボッチャの知識と技術を習得できたようです。今後サロン活動や地域住民へ向けたボランティア活動に活かしてほしいと願います。



1月吉日 熊川住宅福祉地区(こぐまサロン)



コロナ禍において、サロン活動の再開が難しい中、どうすれば良いかスタッフ間で意見を出し合いました。活動を継続するために、メッセージにお菓子を添えて見守りを兼ねてサロン参加者に配布しました。安心・安全にサロン活動が再開できる日を願っています。

福祉
体験
授業

福生市第五小学校 四年生

12月6日(月)

「高齢者疑似体験・アイマスク・車いす」

肢体不自由者・高齢者・視覚障がいの方々が生活の中でどのようなことに困難を感じているのかを疑似体験することで理解を深めることを目的とし、実施されました。



生徒の皆さん事前に福祉について学習しており、実際に体験することで、教科書で学んだことへのイメージが更に膨らんでいる様子でした。



福生市第二小学校 四年生

1月18日(火)・20日(木)

「視覚障がい者への理解」をテーマに「点字」の学習

点字サークル「ほたる」の皆さんの指導のもと、点字がどのように活用されているのかを知り、実際に点字に触れて作ってみると学習しました。4年生では「視覚障がい者への理解」を深める授業を3回実施し、担任の先生方も熱心に取組されました。視覚障がい当事者からの貴重なお話と3回の授業から、子ども達には大切な「福祉の心」が育めたのではないかでしょうか。

FVACがらのお知らせ

ふっさボランティアセンター費お礼

★福生市民謡連盟	3,200円
★北島 浩子	3,000円
★福生一中おやじの会	3,000円
★熟年麻雀ひろば	5,000円

その他使用済み切手、ベルマーク、インクカートリッジなどの収集に多くの御協力をいただきました。

御協力ありがとうございました！

印刷機のご利用には皆様からの寄付などでまがなわれています。

センター費募集中！

オンラインサロン「福力フェ」

「福力フェ」とは、ふっさボランティア・市民活動センターで企画しているオンラインサロンです。Zoomを使用してみなさんで交流してみませんか？

新たにご参加を希望される方はFVACまでメールにてご連絡ください。

Mail : fvac@fussashakyo.or.jp

※2月は登録団体連絡会開催のためお休みです。なお、連絡会はオンラインでの参加も可能です。

ベルマーク整理ボランティア募集

奇数月第2土曜日午後1時30分～

「ベルマークは整理・計算して財団に送ると1点が1円に換算されてベルマーク預金になり、学校に必要な設備・教材が「協力会社」から購入でき、購入金額の10%が財団に寄付され、さまざまな教育援助活動に使われます」



様々な商品に添付されているベルマークは、種類ごとに仕分けして財団に送付しなければなりません。そこで、当センターでは地下のボランティア団体室で2ヶ月に1回、個人ボランティアの皆さんによる仕分け、整理作業が行われています。ハサミを使う作業でどなたでも出来ます。コロナ禍の中、自宅で作業することも可能です。

何か出来ることはないかと思われている方、始めてみませんか？お問合せはFVACまで！

ちょっとボランティア

毎週金曜日午前10時～午後4時
時間内 出入り自由

地下ボランティア団体室を作業場所として開放しています。切手、ベルマーク整理、ホスピタルアート制作などお好きなものでご参加ください！ご自宅での制作も可能です。

編集 社会福祉法人福生市社会福祉協議会
発行 ふっさボランティア・市民活動センター
『FVAC』は、ふっさボランティア・市民活動センターの略称です！

〒197-0004 福生市南田園2-13-1 福祉センター内
TEL: 042-552-2122 / FAX: 042-553-7532
E-mail: fvac@fussashakyo.or.jp
ホームページ: https://fussashakyo.or.jp/fvac/